

令和3年度 第3回自立支援協議会定例会議(書面開催) 議事録

開催日:令和4年3月18日(金)

委員:出席29名、欠席0名

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面形式にて会議を開催しました。

議事1 令和4年度障害者福祉関連予算について

(1) 内容

令和4年度の障害福祉関連予算について、荒川区障がい者総合プランの重点施策に沿って報告を行いました。

(2) 委員からの意見

特になし

議事2 令和3年度活動実績及び令和4年度活動予定等について 協議事項

(1) 内容

本会及び部会、ワーキンググループの令和3年度活動実績及び令和4年度活動予定等について、報告・協議を行いました。

(2) 結果

承認する:29件 承認しない:0件

(3) 委員からの意見

- ◇ 令和4年度の取組について、3件の活動が取りあげられていますように、肢体不自由者の生活実態についても議論の場を設けて欲しいと思います。精神・知的障がい者の問題だけでなく、区内の介護事業所で重度訪問介護を引き受けてもらえない事業所が多いと感じています。
- ◇ 精神ワーキンググループの活動報告について、近年のコロナ感染のなか、面接調査を引き続き実施され、課題を検討し、今後の方向性を見出したと思います。面接者43人の6割は10年以下、4割は10年以上の入院でした。これは、通常の治療入院患者と比べて、長期であり、それによる退院の希望が複雑に阻害されます。地域移行が実施できたケース今後も検討し、継続支援と仕組みづくり等による地域支援を進めたいです。
- ◇ コロナ禍での自立支援協議会部会やワーキンググループの活動ありがとうございます。地域生活支援拠点ワーキンググループの検討内容について、興味深いので是非、詳細をお知らせいただければと存じます。
- ◇ 訪問や対面がままならない中、令和3年度も各部会にて積極的な取り組みがなさ

れており、とても頼もしく感じました。ワーキンググループにおいては区内の支援者が様々な課題に力を合わせてアイデアを出し合い、連携して実績を積み上げていることがわかり、感心すると同時に大きな可能性を感じました。今後もワーキンググループに多くの区内支援者が関わることで個々の日常的支援の意義を深めることができるのではないかと考えます。

- ◇ 各部会ともコロナ禍でも、ZOOM を活用される等、目的に向かって取り組まれ、成果をだされていることに感謝いたします。
- ◇ 資料2の4年度活動予定について、「荒川区障がい者総合プランの改訂に係る調査の実施」につきましては、郵送調査だけではなく、当事者のヒアリング（グループ形式）も検討いただけるとよろしいかと思えます。研修ワーキンググループの4年度の活動予定として記載されている「重層的支援体制をテーマとした取り組み」は非常に大切であると思えます。研修にとどまらず、ワーキンググループにおいて、具体的かつ意識的に重層的支援会議などをパイロット的に実施するなどの活動が必要だと思えますので、御検討いただけると幸いです。
- ◇ 令和3年度活動実績について、コロナ禍において各部会及びワーキンググループが思うような活動ができないなか、それでもwebを活用して研修、会議等様々な工夫をされ、積極的に活動されていることを確認させて頂きました。また、こういったwebを活用して、作業所の自主生産品販売等について新しい販路としても期待したい。

地域移行部会活動報告について、これまでニーズ調査によって、顕在化している入院の長期化に伴い、高齢化が進むことで、ますます地域移行が困難になっていく現状にあると思えます。在宅においても同様に、障がい者及びそのご家族の高齢化に伴い、住み慣れた自宅で生活を継続していくこと難しくなりつつある方がいます。各部会、ワーキンググループのこれまでの活動に、今年度また令和4年度の活動が確実に積み上げられ、今後、支援体制の構築、整備がされていくことに期待します。

- ◇ 4年間のニーズ調査は色々な視点から現状の問題が見えて、とても興味深かったです。退院を希望する人が多い中で、「家族の拒否」により本人がそれを諦めてしまうケースはよく起こっている事例です。自立支援のサポートにはやはり本人だけではなく周りの家族の心的体力的サポートも重要であり、今後の課題だと強く感じました。
- ◇ それぞれの部会がコロナ禍の中、歩みを止めることなく取組できたことを評価いたします。今後も荒川区らしい未来を見据えた施策につながっていくことを期待しています。
- ◇ 相談支援部会・地域生活支援拠点ワーキンググループ報告について、区内各事業所の特徴を共有することは、情報共有や連携体制の基盤になると思われれます。一人でも多くの「ご利用者の緊急時」に対応することができるよう、今後とも検討を進めて頂ければと思えます。

相談支援部会・研修ワーキンググループ報告について、重層事業に関しては、障

発0331第11号通知「多様な社会参加への支援に向けた地域資源の活用について」にありますように、住民の社会参加支援など地域課題の解決に向けた地域住民や関係団体、関係事業所等との連携の際に、私たち事業者自身が各々のリソースを認識し直し、それを具体的に提供する等の役割を果たすことが求められていると思います。多様な事業の対象者でありながら支援調整が進まないためにサービスを受けにくい方もおられることを踏まえ、今後とも関係の方々との連携を強化していく方策について研修を進めて頂ければと思います。

地域移行部会・知的ワーキンググループ報告について、当施設は知的障がいの方が多くご利用になっておりますが、残念ながら今年度も、スクラムあらかわさんの利用終了に伴って遠方の施設へ入所された方がおられました。区内の居住支援の状況が脆弱なのは肌感覚で承知しておりますが、実際にこの1年間で区外へ転居された方が区内全体でどの程度おられるのかお伺いしたいです。

事務局(区):令和3年度に居宅や区内のグループホームから区外の施設へ異動された方は、10名となります。

これからは、区内のご利用者やご家族の「住み慣れた荒川区で暮らしたい」とのご希望に寄り添える体制づくりがより重要になると思います。現時点での区内の居住支援の空き状況や、今後、そうした事業所を区としてどの程度増加させることを見込んでおられるか、また区として居住支援事業所の強化について、どの程度のサポートを考えておられるか、お伺いできたらと思います。現在ご検討いただいているBさんの事例を含め、区内で地域移行をご希望になる方を受け入れられるよう、ぜひ積極的な体制づくりを進めていただければと思います。

事務局(区):区内のグループホームの空き状況は、令和4年3月末時点で28床となります。福祉計画でグループホーム等の増加数を設定しているわけではありませんが、地域生活への移行を図るため、重度障がい者の受入れ可能な施設の設置を促進する施策を検討してまいります。

地域移行部会・精神ワーキンググループ報告について、広域にニーズ調査をされ、着実に検討を進められていることがよくわかりました。地域包括ケア全体に言えることですが、長期入院の予防策についても、個人情報をもどのように扱うかが重要だと思いますので、そのあたりのガイドラインづくりも視野に入れて検討を進めていただければと思います。しごと部会報告について、作業所間での委託販売ルールづくりや、区内事業者の協力による職場体験先開拓など、コロナ禍にあってもオンライン等の工夫をしつつ進めていただいている状況がわかりました。今後は、世界的なSDGsの流れを踏まえ、施設事業の枠を越え、「生活介護」等を利用される重度障がいのある方も「人間らしいしごと」に関わることができる体制づくりをご検討いただけたらありがたいです。そうした取り組みに、当施設としても積極的に関わってまいりたいと考えております。

医療的ケア児等支援部会報告について、以前、医療的ケアを必要とするお子さんが区内での療育を受けられず、ご両親がかなり奔走された結果、区外での支援を受けるに至った、という事例がありました。新たに配置されたコーディネーター

の方を中心に、お子さんご本人やご家族がこうした状況に直面せずに済むよう、ぜひご支援をお願い致します。

多くの変異株を含む新型コロナウイルスという感染症に対して、施設単体としても事業継続の難しさを実感しております。これまで、一人のご利用者に対して、日中活動や余暇支援、居住の場それぞれの事業分野で、施設や団体が緊密に連携して、その生活を支えるべく努力を重ねてこられたと思いますが、そうした連携の中、複数の事業所で勤務する従業者（ヘルパー等）や施設などの一カ所で感染が発生することにより、瞬く間に感染が拡大するという事態も、区内各所で起こりました。今後はこうしたことを踏まえて、それでもご利用者の緊急時や日常生活を支えていかれる体制を維持・継続できるよう、「事業所間連携」自体の継続計画についても、各ワーキンググループにて検討を進めて頂ければと思います。

その他

（１）委員からの意見

- ◇ 長い期間、コロナ禍での自立支援協議会が開かれていませんが、部会の会議は ZOOM で開催されているように、自立支援協議会も ZOOM やチームスによる開催も考えていただければと思います。
- ◇ ヘルプカードは、困った時、状況を伝える・助けを求める手段として大変役に立ちます。迷惑をかけまい、障がいを知られたくないという気持ちを尊重する必要がありますが、助けたいと思っている人がどう援助したら良いかが明確に示されるので安心できます。このカードの目的を障がいのあるなしに関わらず、たくさんの方に知って欲しいと思います。
- ◇ 自立支援協議会の開催方法については、書面開催はわかりにくさがありますので、広い会場を確保する、ハイブリット方式で開催するなど、より理解しやすくお願いできれば有難いです。参加する多様な団体がつながりあえる貴重な会ですので、その点も御配慮いただければ幸いです。
- ◇ 各グループの方々と顔を合わせた会議ができる日がくることを願っています。
- ◇ 今年度も大変お世話になりました。次年度も地域の皆様と連携をとりながら、進めていきたいと思っております。どうぞ、宜しくお願い致します。
- ◇ 円滑な協議会の運営をありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

以 上